

北海道篇

北海道十一國渡島、後志、膽振、石狩、天鹽、日高、十勝、釧路、根室、北見、千島

第一章 總論

第一節 位置

○北海道ノ位置及ヒ地勢如何

○本道ハ日本國ノ最北部ニ位シ蝦夷本島及ヒ千島群島其他ノ屬ヲ以テ成ル北ハ宗谷海峡ヲ隔テ、樺太ニ對シ南ハ津輕海峡ヲ隔テ、陸奥ニ向フ渡島ハ最南ニシテ其形宛モ頸ヲ伸タルガ如シ東北ニハ膽振、後志並列シ其ヨリ東南ニハ日高、十勝、釧路根室ノ四國相列リ西北ニハ石狩、天鹽、北見ノ三國相連ル根室ト海峡ヲ隔テタルハ千島群島ナリ

第二節 地勢

一六、二二、五五〇

商業會社

社數

一三

資本金

二六七、六二八

水陸運會社

社數

一

資本金

二〇〇〇

岩手 農業會社

社數

二

資本金

四、二八一

工業會社

社數

六

資本金

一一、八七五

商業會社

社數

二

資本金

二〇、〇〇〇

水陸運會社

社數

一

資本金

一一、〇〇〇

青森 農業會社

社數

九

○山脈ハ樺太ヨリ來リ中部ニ蟠結シ長嶺連亘シ山勢峻

險ヲ極ム其ヨリ西南及ヒ東ニ分岐シ西南ニ走ル者ハ本

州ノ奥羽諸山脈ヲ生ズ而シテ東南部ハ中部ニ隣レル所

ニ大嶺ヲ負フヲ以テ川流東南ニ向ツテ流ル其北部ハ中

央ニ長嶺横絶シタレバ二區ニ分レ天鹽ノ地ハ川流西北

ニ注キ北見ハ東北ニ流ル

第三節 氣候

本道ノ氣候ハ其ノ中央ヨリ南北ニ隨テ大ニ異リ西南及ヒ海ニ瀕セル部ハ頗ル温和ニシテ或ハ本州ノ奥羽ノ地ヨリ出暖ナリ然レモ其他ハ寒氣甚タ烈シク冬時ハ寒暖計零度ヨリ下ルコトアリテ積雪數尺海水爲メニ凍合シ船ヲ通スルコト能ハサルニ至ル

第四節 山岳

資本金

三九、五九一

工業會社

社數

資本金

二〇、五三六

商業會社

社數

資本金

五一、八〇〇

京都 農業會社

社數

一一

資本金

四一四、三〇〇

北海道ノ著名ナル山岳ヲ擧ゲヨ

北見ノ宗谷山ハ其脈東南ニ綿亘シテ天鹽山脈ニ連ル北
海山脈ノ宗系タリ石狩ノ石狩岳十勝ノ十勝岳ハ全道第
一ノ大山ニシテ山脈之ヨリ四出セリ石狩ノ夕張岳天鹽
ノ天鹽岳之レニ亞グ其他渡島ノ千軒岳駒岳遊樂部岳後
志ノ羊蹄山膽振ノ有珠岳釧路ノ雄阿寒雌阿寒ノ兩岳根
室ノ支別岳等ハ各其國ニ有名ナル峻岳ナリ

第五節 江河

北海道ノ著名ナル江河及湖沼ヲ擧ゲヨ

石狩ノ石狩川ハ石狩岳ヨリ發シテ日本海ニ注グ我カ國
第一ノ大河ナリ下流舟楫ノ利又少カラズ天鹽ノ天鹽川
十勝ノ大津内川之ニ亞グ其渡島ノ有川後志ノ後志川共
ニ有名ニシテ釧路ノ久壽里川根室ノ西別川亦巨流ナリ

工業會社

社數

九一

資本金

一七、二五六三九

商業會社

社數

一六

資本金

一〇、三二〇〇〇

水陸運會社

社數

四

資本金

一二五、五〇〇

大坂 農業會社

社數

第六節 湖沼

全道ノ湖沼ハ大小凡テ四十六アリテ大低皆深山函谷ノ
間ニアリ就中其最大ナルモノハ北見ノ猿間沼トシ之ニ
亞グモノヲ其概蓮湖トス其他膽振ノ洞爺湖支笏湖釧路
ノ阿寒等著名ナリ

第七節 岬 灣 附海峽

北海道ノ諸線岸ハ如何

本道ト本島トノ間ニ在ル一帯水ヲ津輕峽ト云フ海峽此
中ニ突出シタル渡島ノ兩角ニ二岬アリ其東ナルヲ惠山
岬ト云ヒ西ナルヲ白神岬トイフ此二岬ニテ擁ク灣ヲ渡
島灣ト云フ又膽振ノ惠登毛岬ハ内浦灣ヲ抱キ後志ノ辨
慶崎ト於加毛井崎ハ壽津灣ニ臨ム辨慶崎ノ南ニ白糸崎
アリテ於加毛井崎ノ北ニ積丹崎アリ小樽灣ハ石狩川ノ

五
 資本金 二二二、〇〇〇
 工業會社
 社數 一四四
 資本金 六一七八、六二〇
 商業會社
 社數 五五
 資本金 二八二五、四四四
 水陸運會社
 社數 八
 資本金

口注ニシテ其南ニ高島岬アリ日高ノ襟裳岬ハ根室ノ納紗市岬ト共ニ長ク太平洋ニ延出シ其北ニ根室灣アリ又厚岸灣ハ釧路ノ名泊ニシテ宗谷知床ノ兩岬ハ北見ニ著ナル宗谷ノ前面ノ海峽ヲ宗谷海峽ト呼ビ根室ト千島トノ間ヲ根室海峽ト呼ブ

第八節 海港

荷哥斯科海ハ本島及ヒ千島ノ以北ニ在リ宗谷ノ岬ヲ以テ日本海ト界ヲ分ツ本道ノ南面一帶ハ太平洋ニシテ其西濱ハ日本海ナリ港ノ有名ナルモノハ渡嶋ノ函館ヲ第一トシ後志ノ小樽之ニ亞グ膽振ノ室蘭石狩ノ石狩根室ノ根室北見ノ宗谷亦著名ナリ其他福山江刺壽都釧路厚岸等ノ諸港アリ

第九節 島嶼

一七七、七五〇
 奈良工業會社
 社數 一一
 資本金 二九〇、五六〇
 商業會社
 社數 二
 資本金 一五、〇〇〇
 和歌山工業會社
 社數 六
 資本金 一五〇、一〇〇
 商業會社

千島ハ日本ノ東北ニ餅列セル嶋嶼ノ總稱ナリ就中其著大ナルモノハ國後擇捉得撫新知恩稱古丹幌筵ノ六島ニシテ國後ハ最モ根室ニ接近ス而シテ極北ノ小嶼ハ占守島ト云フ此ノ千島郡嶋ノ外ニ數島アリ奥尻島大島ハ渡島後志ノ海上ニ峙立シ禮文島利尻島ハ共ニ北見天鹽ノ海上ニ並列ス而シテ皆甚マ大ナラズ

第十節 物産

本道ノ物産ハ地勢及ヒ氣候ノ關係甚シキヲ以テ本州ノ物産ト異リ天然物ニ富メドモ人造品甚少シ漁業ハ本道第一ノ利源ニシテ就中鮭鱒大口魚青魚鱒昆布最モ多ク臘豚獸臘虎鯨魚水豹ノ類有名ナリ又鑛物ハ石炭及ヒ鐵ヲ出スコト極メテ多シ檜檜ノ巨材樺落葉松葉等ナリ

第十一節 鑛山及鑛泉

- 社數 一
- 資本金 三〇、〇〇〇
- 兵庫 農業會社
- 社數 一一
- 資本金 一〇四、三四九
- 工業會社
- 社數 一一五
- 資本金 一三八、二五九八
- 商業會社
- 社數 二四

本道鑛山ノ所在十餘所ニシテ硫黃ヲ第一トシ石炭之ニ亞グ硫黃坑ハ渡島ノ惠山膽振ノセコアンベツ釧路ノアトサノポリニ在リ石炭坑ハ後志天鹽膽振ニ在リ石油ハ石狩ノシヤツカリ山及ヒシユンベツ山ヨリ出ツ又後志ニハ金銀銅坑數所アリ温泉ハ渡島ノ惠山湯及河汲湯後志ノ雷電湯膽振ノ登別湯等効驗著シト稱ス其他本道温冷鑛泉鮮カラズト雖凡其地僻遠ナルヲ以テ其名著ハレズ

第十二節 瀑布

瀑布ハ本島及ヒ千島ヲ合セテ十餘條アリト雖凡其大ナルモノハ三四瀑ニ過ギズ石狩ノ石狩瀑ハ石狩嶽ヨリ發シ溪流輻リ縣テ六條瀑トナル其他釧路ノ阿寒瀑千島ノ保倍瀑及ヒ刺鬼別瀑等ハ本島著名ノモノナリ

第十三節 道路

蝦夷南海道ハ渡島ノ函館ニ發シ室蘭ニ航シ日高十勝釧路等ヲ經テ根室ノ野付驛ニ至ル蝦夷北海道ハマタ函館ヨリ發シテ膽振ニ入り後志ニ出テ石狩天鹽北見等ヲ經テ根室ノ野付驛ニ至ル

第二章 都會

- 資本金 一六、一六〇〇〇
- 水陸運會社
- 社數 一〇
- 資本金 一三五、三〇〇〇
- 岡山 工業會社
- 社數 二四
- 資本金 四九四、六六〇
- 商業會社
- 社數 四
- 資本金 六二、一〇〇

渡島ノ函館ハ五港ノ一ニシテ北海道廳出張所ノ在ル所ニシテ商業繁盛北海道第一ノ都會タリ此地ニ五稜郭ト稱スル堡塞ノ墟アリ戊辰ノ戰場ニシテ其名高シ札幌ハ石狩川ノ下流ニアリ此地北海道廳所在ノ都會ニシテ鐵道東西ニ通シ市街ノ繁昌函館ニ亞グ現今農學校紡績場博物館公園等ノ設アリテ其觀曾テ蝦夷ト稱セシ時代ト

水陸運會社
社數
三
資本金
七、二〇〇

廣島 農業會社
社數
三

資本金
四一、四八四
工業會社
社數
一八

資本金
二四六、〇〇三
商業會社
社數

第三章 風俗

本道ハ古昔ヨリ蝦夷人ノ住セシ地方ニシテ本島人ハ多ク其西南部ニ居住ス蝦夷人ノ風俗ハ本島人ト大ニ異ナリ身体毛深ク女ハ口傍手臂ニ黥シ獸皮或ハ木皮ニテ製シタル圓袖ノ粗服ヲ着ス住居ハ丸木蘆荻等ヲ以テ作り屋外ノ牆ニ多ク欄干ヲ掛クルヲ以テ富豪トナス髮ハ天然ノ伸長ニ任シテ修飾セズ獵漁ヲ以テ生テ營ミ農業ヲ知ラズ言語ハ古來文事ナキガ故ニ歷世口碑ヲ以テ傳フルノミ現今土人ハ移住人ヲ恐レ益々僻陋ニ退ク故ニ其

數頗ル減ズ然レモ土人中或ハ本島移住人ノ頭使ニ役シテ賃仕スルアリ

第四章 沿革

山口 農業會社
社數
一
資本金
三、五〇〇
水陸運會社
社數
四
資本金
一〇、二二〇
工業會社
社數
六
資本金

本道ハ往古王土ニ屬セズ景行天皇ノ時武内宿禰此地ヲ巡察ス後チ土人ノ叛服常ナラズ日本武尊之ヲ鎮定ス後チ復タ叛ク阿部比羅夫討テ之ヲ平グ其後内地多事ナルニ會シ渡島津輕蝦夷叛亂極リナシ坂上田村麻呂之ヲ征シテ其巢窟ヲ攘ヒ本州悉ク我版圖ニ歸ス是ヨリ蝦夷等本道ニ退居セリ爾來土人ノ總稱チ地名ニ及ボシテ本道ヲ蝦夷地ト云フ鎌倉ノトキ安藤季信蝦夷ヲ總管ス傳ヘ云フ源義經衣川ニ敗レ遁レテ本道ニ來リ竟ニ新羅ニ渡リテ之ヲ定ムト享徳中武田信廣松前ニ航ス其子孫ニ至リ

九三、七二〇
商業會社
社數 一
資本金 一
三四六、二〇〇
水陸運會社
社數 三
資本金 三
三三二、〇〇〇
島根 農業會社
社數 四
資本金 四
八、八九〇
工業會社

豐臣氏ニ屬シ福山ニ城キ松前氏ト稱ス明和中魯西人始
メテ得撫島ニ移住ス松前氏制スルコト能ハズ寛政中德
川氏近藤守重等ヲシテ本道ヲ巡視セシム露人既ニ榜標
ヲ捉ニ樹テ界ヲ定ム守重之ヲ拔キ更ニ標シテ日本惠土
呂布ト記ス後チ露人屢バ此地ヲ蠶食ス是ニ於テ幕府函
館奉行ヲ置ク文久年間使チ露國ニ遣ハシテ境界ヲ議ス
後チ内閣多事ニ際シ數年ヲ經過ス露人竟ニサカールン
チ開拓ス幕府大ニ愕キ又使チ發シテ之ヲ詰リ彼我人民
ノ雜居ヲ約ス明治元年榎本武揚大島圭介等函館ニ據リ
王師ニ抗ス勢威甚ダ強シ既ニシテ軍敗レ竟ニ歸順ス後
チ朝廷蝦夷全島ヲ十一國ニ分チ開拓使チ置テ之ヲ綜フ
尋テ北海道ト改ム又露國ト議シテ樺太ヲ得撫ヨリ東北
ノ群島ト交換シテ千島ニ屬ス後チ開拓使チ廢シテ函館

山口 農業會社
社數 四
資本金 四
一〇、二二〇
工業會社
社數 六
資本金 六
九三、七二〇
商業會社
社數 一
資本金 一
三四六、二〇〇
水陸運會社
社數

札幌及根室ノ三縣ヲ設ケテ全道ヲ分轄ス明治十九年マ
タ之ヲ併セ北海道廳ト改タム

國名	郡	名
渡島	函館、龜田、上磯、茅部、松前、檜山、爾志、久遠、奥尻、太櫛瀨、棚壽、都島、牧歌、棄、磯谷、岩内、古宇、小樽、高島、忍路、餘市、古平、美國、積丹、山越、室蘭、有珠、虻田、幌別、勇拂、白老、千歲	
石狩	札幌、石狩、厚田、濱益、空知、夕張、樺戸、雨龍、上川	
天鹽	増毛、留萌、苦前、天鹽、中川、上川	
日高	浦河、沙流、新冠、靜内、三石、樣似、幌泉	
十勝	廣尾、當縁、十勝、中川、河西、河東、上川	
釧路	釧路、白糖、阿寒、足崎、川上、厚岸	
根室	根室、花咲、野付、標津、目梨	
北見	宗谷、枝幸、利尻、禮文、網走、斜里、常呂、紋別	
千島	國後、擇捉、紗那、振別、藥取、色丹、得撫、新知、占守	

三
資本金
三三三、〇〇〇

室蘭	小樽	江刺	福山	名邑
蘭當	樽後	同	山渡	國名
振室	志小	檜	島津	郡名
蘭當	樽浦	山留	輕石	名邑
緣十	河日	萌天	狩石	國名
勝當	向浦	鹽留	狩石	郡名
緣	河宗	萌原	狩仙	名邑
	谷北	別根	鳳路	國名
	見宗	室根	釧路	郡名
	谷	室	原岸	名

版權錄

應受
用驗
日本
小地
誌終

明治二十三年十二月廿六日印刷
明治二十三年十二月廿九日出版

正價金拾二錢



編輯者兼
發行者

野口竹次郎

日本橋區本石町壹丁目六番地

印刷者

內藤祐

京橋區元數寄屋町一丁目一番地

發行所
博文館

東京市日本橋區本石町三丁目十六番地

28
1
12

通俗教育全書發兌規定
全部拾二卷
紙數貳千三百頁

正價 明治廿三年一月ヨリ十二月迄毎月一回宛一ケ年間ニ全部完成ス
 前金壹圓廿五錢 ● 三冊前金三拾三錢 ● 六冊前金六拾五錢 ● 十二冊
 御注文ハ一切前金ヲ要ス ● 郵税一冊一錢五厘第七編以下一冊二錢トス
 館友諸君并ニ日本之少年讀者ニ限リ一割引トス

第一編	家庭教育	幼稚園	第七編	日本小歷史
第二編	家庭教育	尋常小學校	第八編	支那小歷史
第三編	家庭教育	高等小學校	第九編	萬國小歷史
第四編	家庭教育	女學校	第十編	萬國小地誌
第五編	家庭教育	商業學校	第十一編	小理化學
第六編	實業教育	農工學校	第十二編	小動植物學

本書全部完成ノ上ハ尙ホ少年學生諸君參考上ニ有益ノ良書ヲ續刊可致候

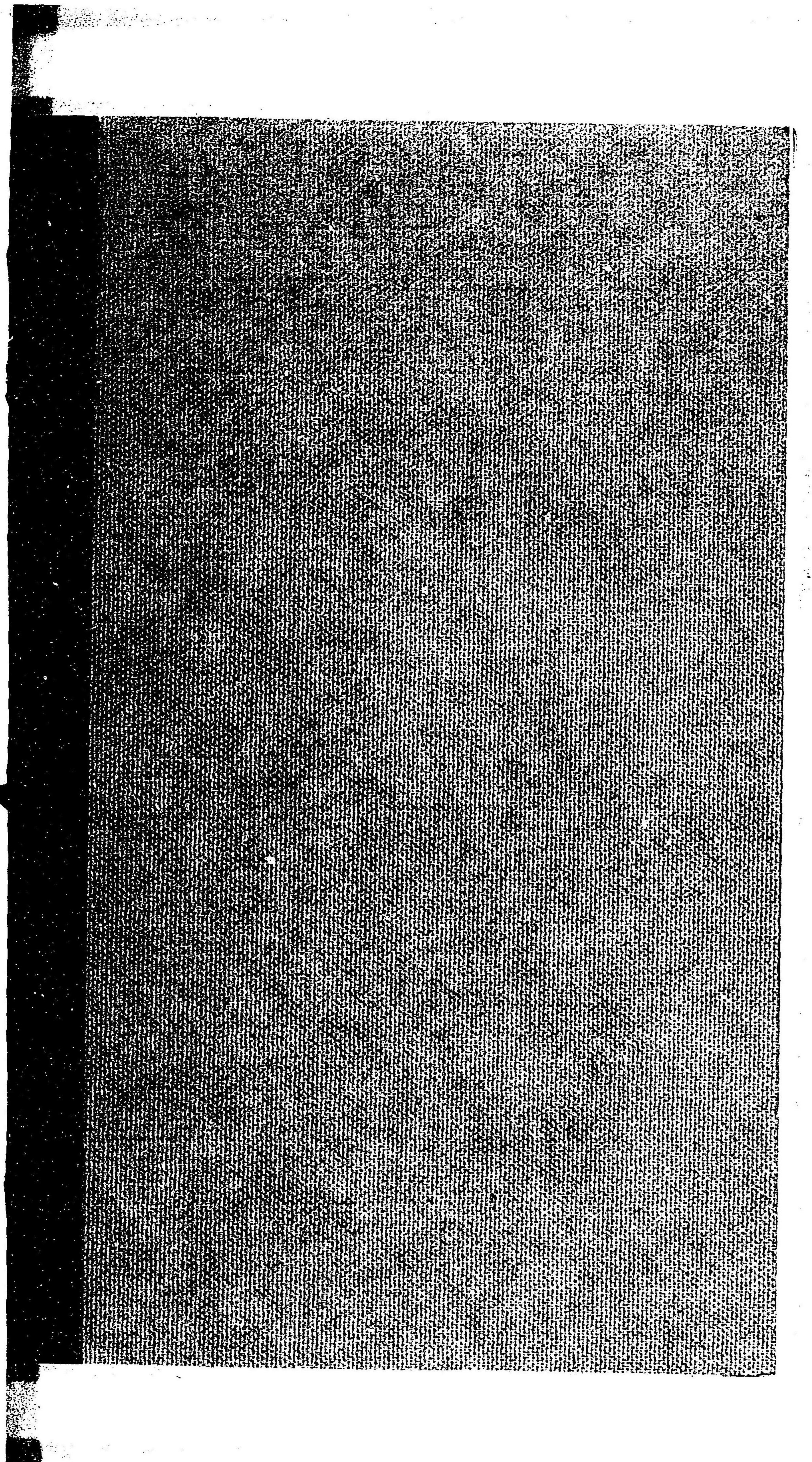


HAKUBUNKAN

TOKYO

東京博物館

光緒二十九年



特 20

198

受験
応用 日本小地誌

国立国会図書館

049600-000-1

特20-198

日本小地誌 (受験応用)

谷口 流鶯 / 著

M23

BEM-0301

